



情報通信

北陸コンピュータ・サービス株式会社

所在地 / (本社) 富山市婦中町島本郷47-4
TEL.076-495-9500 <https://www.hcs.co.jp/>
創業 / 1967(昭和42)年 従業員数 / 662名(2025年4月現在)



もっと、くわしく
見てみよう!

職場見学可能です

? ICTの仕事って、 どんなことをしているの?

情報通信技術を使って、困りごとを 解決するお手伝いをしています

ICT(情報通信技術)とは、コンピュータやインターネットを使って情報を集めたり、保存したり、他の人と共有したりする技術のこと。ICTを活用することで、仕事をより効率的に行えるようになります。私たちは、お客様の困りごとに応じたシステム開発やサポートを行い、お客様の事業の成長を支えています。



富山本社

? ICTでどんな困りごとを 解決するの?

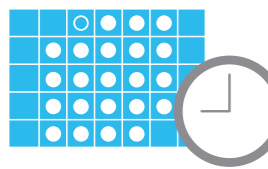
お客様ごとに課題はさまざま。 丁寧に寄り添って解決を目指します

ペーパーレスで仕事を より早く、正確に



紙で資料を保管していると、場所をとるし、必要な時に探すのも大変です。紙の情報をパソコンに取り込んで電子化すれば、必要な情報をすぐに探し出すことができ、作業時間の短縮にもつながります。

誰がいつ、何時間働いた? ひと目で分かる勤務記録



社員の勤務時間や休日などを、手作業で記録・管理するのは大変です。勤務状況をシステムで“見える化”すれば、管理作業の負担も軽減。正確な記録が残るので、社員間の公平性も保てます。



安全なデータセンターで 大切な情報を守る

コンピュータウイルスや不正アクセス、災害などから、大切な情報を守らなければなりません。北陸コンピュータ・サービスは、安全な場所にあるデータセンターで、お客様の情報を預かります。



商品在庫がすぐに分かる 販売管理システム

商品が何個売れたか、在庫は何個あるか、手作業で確認するのは時間がかかります。商品を管理するシステムなら、どの商品が何個あるか、売上はいくらか、すぐに確認できてミスも減らせます。

? どんな仕事を しているの?

システム営業



お客様の困りごとを丁寧に聞き取ります。改善方法を一緒に考え、ICTを使った解決策を提案します。

💡 システムの提案から開発、運用、サポート まで、ICTのことは丸ごとおまかせ!

システムエンジニア



お客様の要望に合わせてシステムを設計・開発。正常に機能するかテストを繰り返し、設定を行います。

システムサポート



システムの運用開始後も定期的に動作を確認。トラブル対応や改善提案を通じて、お客様の仕事を支えます。

? 新しいICT技術 ってどんなもの?

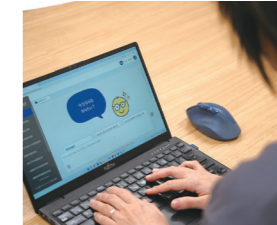
💡 私たちの研究・開発の内容を いくつか紹介します

自然な会話ができるAIアシスタント



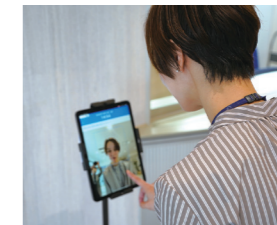
さん、こんにちは! AIアシスタントの櫻羽エルです。私と少しお話ししていきませんか?

生成AIや音声認識などの技術を使ったAIアシスタントを開発。仮想空間上のキャラクター「櫻羽エル」が、人のような声や表情、動きで対応します。近づいてきた人に話しかけたり、質問に答えたりと、コミュニケーションはとても自然。観光ガイドやお店での接客など、さまざまな場面での活用を目指しています。



AIチャットが仕事をお手伝い

生成AIを利用したチャットサービスを開発。会社のシステムと連携し、書類作成やデータ分析などの仕事をサポートします。社内情報の流出を防ぐ仕組みも取り入れています。



顔認証で出勤・退勤を記録

顔をかざすだけで、出勤と退勤の時間を記録できるシステム。表情を読み取る技術を応用して、社員の健康状態やストレスをチェックする仕組み作りにも取り組んでいます。

働く人の声を聞いてみよう!

Q&A



システムエンジニア
N. A さん

Q.仕事の魅力は何ですか?

自分が作った仕組みを「便利!」と喜んでもらえると、うれしいですね。AIやクラウドなど、新しい技術や知識を学ぶ楽しさも、やりがいのひとつです。

Q.仕事で心がけていることは?

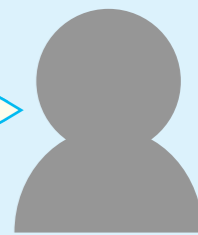
コンピュータの仕組みは複雑なので、情報を整理して言葉や図でまとめるなど「わかりやすく伝えること」を大切にしています。お客様から「難しいと思ったけど、説明してもらったらよく分かった!」と言ってもらえると励みになります。これからも、たくさんの人の仕事を楽にできる仕組みを作っていきたいですね!

Q.仕事でうれしかったことは?

システム開発は一人ではなく、お客様を含めたチームで協力して行います。初めてプロジェクトのリーダーを任された時は、チームワークがいかに大切かを実感しました。メンバーとのコミュニケーションを意識して進めたプロジェクトが成功した時は本当にうれしかったですね!

Q.今後の目標は何ですか?

ICT技術は、社会を支える仕組みとしてどんどん進化しています。なかでもAI技術は、未来の社会を作る柱となるはず。私もしっかりと技術を学び、地域社会の役に立ちたいと思っています。



システムエンジニア
N. Y さん